

ダ・ヴィンチの
手稿

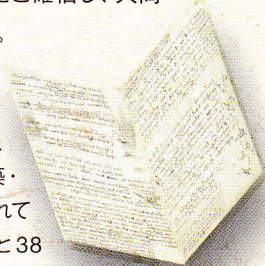
イタリアの至宝 直筆ノート『鳥の飛翔に関する手稿』 日本初公開！

空を飛ぶ鳥の研究こそが、飛行に成功する唯一の道だと確信し、人間の限界を克服しようとした挑戦の軌跡を記したノート。

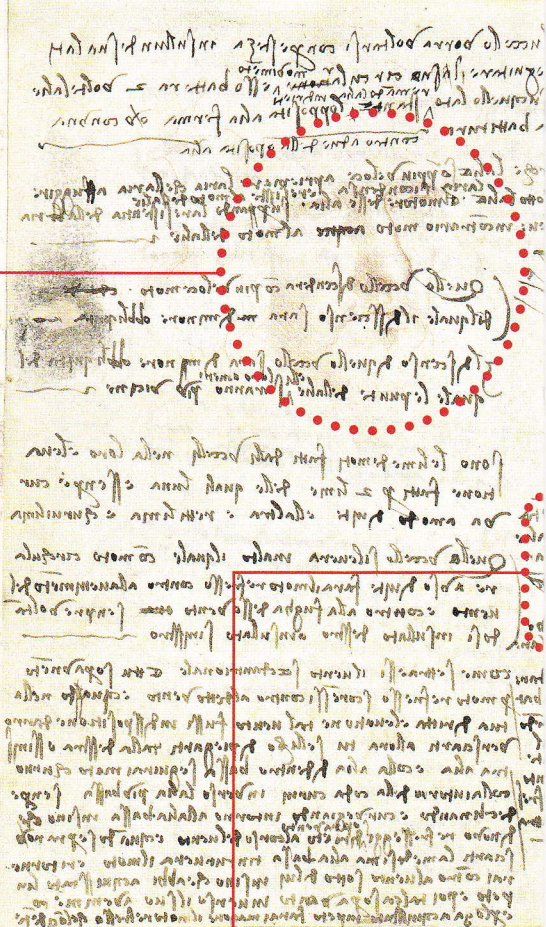
『鳥の飛翔に関する手稿』

人間の飛行に関する実験方法から実現の予言にいたるまで、様々な研究の図解入り直筆ノート。鳥の飛翔・解剖学・建築・水力学の研究のほか、藁や鶏の購入費用メモなどが収められている。大きさ21.3×15.4cm、20紙葉(表紙と裏表紙を除くと38頁)からなり、レオナルドがミラノを離れフィレンツェに滞在していた1505年に記された。一時はナポレオンが所有し、その後は盗難と散逸の運命を辿りつつ、現在、奇跡的に全紙葉がトリノ王立図書館に収蔵されている。

*斎藤泰弘氏(京都大学名誉教授)による全面改訂訳を本展図録で発表。



自画像と推定されるデッサン



『鳥の飛翔に関する手稿』
第10紙葉裏と第11紙葉表、
21.3×15.4cm、
トリノ王立図書館蔵
© Biblioteca Reale

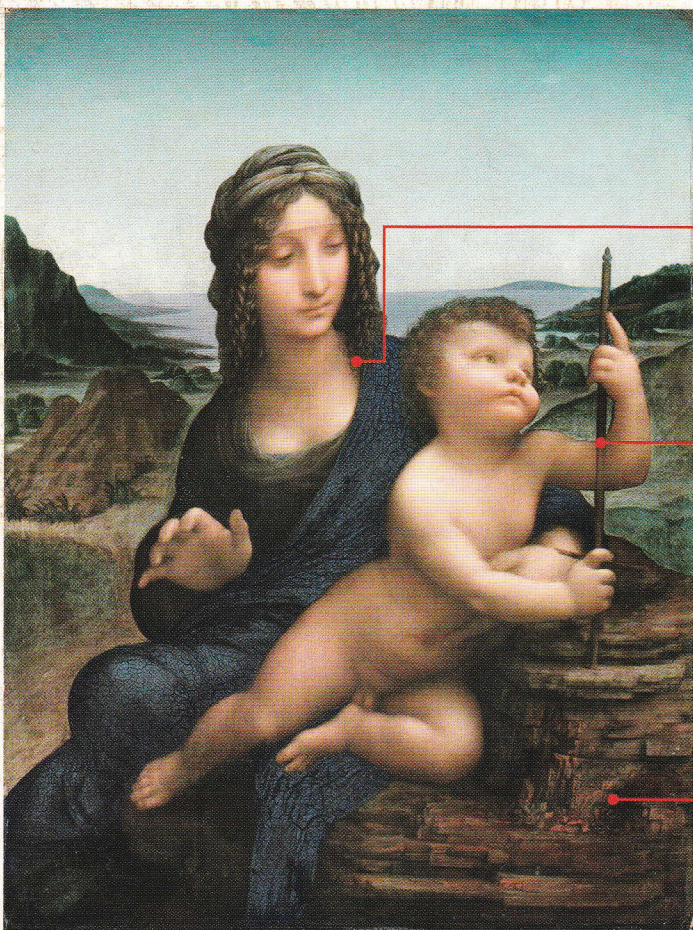
ことば
1

上昇する鳥は、羽ばたかずに
れに対して上向きにして、た
ながら飛ぶ。

ダ・ヴィンチの
絵画

15点にも満たない ダ・ヴィンチの絵画のうちの1点 傑作《糸巻きの聖母》日本初公開！

英国貴族バクルー公爵が代々、所蔵する傑作。2009年から英国エディンバラのスコットランド・ナショナル・ギャラリーに寄託、展示されている。《モナ・リザ》へつながる sfumato(ぼかし技法)が用いられている極めて貴重な絵画。英国外に出品されるのは77年ぶり。



あの《モナ・リザ》へつながる sfumato(ぼかし技法)が母子像全体に使われている。

幼子イエスが持つ糸巻き棒は人間と世界の運命を紡ぐ道具

地質学研究成果！
レオナルドならではの卓越した描写

《糸巻きの聖母》1501年頃、油彩・板、48.3×36.8cm、バクルー・リビング・ヘリテージ・トラスト蔵
© The Buccleuch Living Heritage Trust

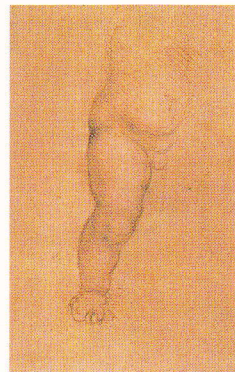
ダ・ヴィンチの 素描

珠玉の素描群、日本初

イタリア屈指のレオナルド素描の所蔵点
た真筆素描7点(うち1点は弟子との共作)
「素描は極めて卓越しているのだから、
研究する」(『絵画の書』133より)とし



《子どもの研究》(部分)
1502-1503年、28.5×19.8cm



《子どもの脚の研究》
1502-1503年、13.5×10cm